



JASDAQ

平成23年12月28日

各 位

会 社 名 株式会社マキヤ
代表者名 代表取締役社長 川原崎 康雄
(コード番号 9890)
問合せ先 取締役財務部長 矢部 利久
(TEL. 0545-36-1000)

(訂正)「平成23年3月期 第2四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、平成23年12月13日付「不適切な会計処理の可能性について」において、過年度決算の訂正につきましては、確定次第速やかに開示する旨、お知らせいたしました。このたび、その具体的な訂正内容が確定いたしましたので下記のとおりご報告いたします。

訂正箇所を含むページについては訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には_____ (アンダーライン) を付して表示しております。

記

1. 訂正を行う決算短信

決算期 平成23年3月期 第2四半期決算短信

発表日 平成22年11月9日

2. 訂正の理由

当社において不適切な会計処理があったため。

詳細は、本日付「不適切な会計処理の調査結果について」をご参照ください。

以 上



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場会社名 株式会社 マキヤ 上場取引所 大
 コード番号 9890 URL <http://www.makiya-group.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川原崎 康雄
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理・財務部長 (氏名)矢部 利久 TEL 0545-36-1000
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 平成22年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	30,240	△1.2	536	125.3	600	115.6	54	△63.6
22年3月期第2四半期	30,619	△5.3	238	△57.8	278	△57.6	149	△43.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	5.46	—
22年3月期第2四半期	15.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	28,814	11,548	40.1	1,156.76
22年3月期	29,412	11,602	39.4	1,162.15

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 11,548百万円 22年3月期 11,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
23年3月期	—	7.50	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,500	△2.0	920	17.0	1,150	26.5	500	126.0	50.08

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場会社名 株式会社 マキヤ 上場取引所 大
 コード番号 9890 URL <http://www.makiya-group.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川原崎 康雄
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理・財務部長 (氏名)矢部 利久 TEL 0545-36-1000
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 平成22年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	30,240	△1.2	493	107.3	557	100.2	28	△80.8
22年3月期第2四半期	30,619	△5.3	238	△57.8	278	△57.6	149	△43.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	2.88	—
22年3月期第2四半期	15.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	28,767	11,501	40.0	1,152.06
22年3月期	29,391	11,581	39.4	1,160.03

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 11,501百万円 22年3月期 11,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
23年3月期	—	7.50	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,500	△2.0	920	22.4	1,150	31.6	500	149.8	50.08

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

【訂正前】(2ページ)

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部企業収益に回復の兆しが見られたものの、急激な円高の進行による輸出関連企業の収益悪化懸念、雇用や個人所得の環境の停滞、消費者物価の下落など、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

当小売業界におきましては、競合店との競争激化やデフレの進行による商品の販売価格の下落が続くなど、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、重点施策のひとつとしてお客様の暮らしに貢献できる売場を目指した「欠品撲滅の徹底」を推進するとともに、プライベート商品の販売強化等により生産性の向上、利益率の改善に取り組んでおります。

新規出店といたしましては、平成22年6月に業務用食料品販売店の「業務スーパー三島南店」、「業務スーパー袋井店」の2店舗を開店いたしました。

また、平成22年9月に食品スーパー「ポテト原町店」を「生鮮&業務スーパーm a m y原町店」としてリニューアルオープンいたしました。この店舗は、食品スーパー「ポテト」の生鮮食品、価格競争力のある冷凍商品等プライベート商品を提供する「業務スーパー」、新鮮かつ価値ある価格で惣菜を提供する「Green's K」を同一店舗内に展開する新業態での取り組みであります。

①売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は302億4千万円(前年同期比1.2%減)となりました。総合ディスカウント店「エスポット」及び業務用食料品販売店「業務スーパー」等は、引き続き堅調に推移いたしました。食品スーパー「ポテト」は厳しい競争環境の影響により、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

②営業利益

当第2四半期連結累計期間の営業利益は5億3千6百万円(前年同期比125.3%増)と大幅に増加いたしました。

これは、売上総利益が前年同期と比較して改善したことと、販売費及び一般管理費の削減効果によるものであります。

③経常利益

当第2四半期連結累計期間の経常利益は6億円(前年同期比115.6%増)となりました。

④四半期純利益

当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は5千4百万円(前年同期比63.6%減)となりました。

これは、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を1億7千6百万円、投資有価証券の売却損を1億4千6百万円、遊休土地の減損損失6千4百万円を特別損失に計上したことによるものであります。

【訂正後】(2ページ)

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部企業収益に回復の兆しが見られたものの、急激な円高の進行による輸出関連企業の収益悪化懸念、雇用や個人所得の環境の停滞、消費者物価の下落など、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

当小売業界におきましては、競合店との競争激化やデフレの進行による商品の販売価格の下落が続くなど、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、重点施策のひとつとしてお客様の暮らしに貢献できる売場を目指した「欠品撲滅の徹底」を推進するとともに、プライベート商品の販売強化等により生産性の向上、利益率の改善に取り組んでおります。

新規出店といたしましては、平成22年6月に業務用食料品販売店の「業務スーパー三島南店」、「業務スーパー袋井店」の2店舗を開店いたしました。

また、平成22年9月に食品スーパー「ポテト原町店」を「生鮮&業務スーパーm a m y原町店」としてリニューアルオープンいたしました。この店舗は、食品スーパー「ポテト」の生鮮食品、価格競争力のある冷凍商品等プライベート商品を提供する「業務スーパー」、新鮮かつ価値ある価格で惣菜を提供する「Green's K」を同一店舗内に展開する新業態での取り組みであります。

①売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は302億4千万円(前年同期比1.2%減)となりました。総合ディスカウント店「エスポット」及び業務用食料品販売店「業務スーパー」等は、引き続き堅調に推移いたしました。食品スーパー「ポテト」は厳しい競争環境の影響により、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

②営業利益

当第2四半期連結累計期間の営業利益は4億9千3百万円(前年同期比107.3%増)と大幅に増加いたしました。

これは、売上総利益が前年同期と比較して改善したことと、販売費及び一般管理費の削減効果によるものであります。

③経常利益

当第2四半期連結累計期間の経常利益は5億5千7百万円(前年同期比100.2%増)となりました。

④四半期純利益

当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は2千8百万円(前年同期比80.8%減)となりました。

これは、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を1億7千6百万円、投資有価証券の売却損を1億4千6百万円、遊休土地の減損損失6千4百万円を特別損失に計上したことによるものであります。

【訂正前】(3ページ)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比較して、1億5千3百万円減少し、67億2千1百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の売却等により投資その他の資産が2億5千8百万円減少したこと等により、220億9千3百万円となり前連結会計年度末と比較して、4億4千4百万円減少いたしました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末と比較して、5億9千8百万円減少し、288億1千4百万円となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金が6億8千7百万円減少したこと等により、106億1千1百万円となり前連結会計年度末と比較して、4億9千3百万円減少いたしました。

固定負債は、資産除去債務を3億8千5百万円計上したものの、長期借入金3億4千7百万円減少、社債が6千1百万円減少したこと等により、66億5千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して、5千万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比較して、5億4千4百万円減少し、172億6千6百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して、5千3百万円減少し、115億4千8百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比較して6千6百万円減少し、7億9千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が2億8千6百万円等があったものの、減価償却費4億9千4百万円、税金等調整前四半期純利益2億1千2百万円、投資有価証券売却損1億4千6百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1億7千6百万円等により11億4千8百万円の収入となり、前年同期と比較して収入が5億8千7百万円増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が6千9百万円等があったものの、敷金及び保証金の回収による収入1億1千8百万円等により4千4百万円の収入(前年同期は2億4百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少額5億6千5百万円、長期借入金の返済による支出9億6千9百万円等により12億5千9百万円の支出となり、前年同期と比較して支出が8億5千9百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想は、平成22年5月11日の公表数値から変更いたしておりません。

【訂正後】(3ページ)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比較して、1億7千9百万円減少し、66億7千4百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の売却等により投資その他の資産が2億5千8百万円減少したこと等により、220億9千3百万円となり前連結会計年度末と比較して、4億4千4百万円減少いたしました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末と比較して、6億2千3百万円減少し、287億6千7百万円となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金が6億8千7百万円減少したこと等により、106億1千1百万円となり前連結会計年度末と比較して、4億9千3百万円減少いたしました。

固定負債は、資産除去債務を3億8千5百万円計上したものの、長期借入金が3億4千7百万円減少、社債が6千1百万円減少したこと等により、66億5千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して、5千万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比較して、5億4千4百万円減少し、172億6千6百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して、7千9百万円減少し、115億1百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比較して6千6百万円減少し、7億9千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が2億8千6百万円等があったものの、減価償却費4億9千4百万円、税金等調整前四半期純利益1億6千9百万円、投資有価証券売却損1億4千6百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1億7千6百万円等により11億4千8百万円の収入となり、前年同期と比較して収入が5億8千7百万円増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が6千9百万円等があったものの、敷金及び保証金の回収による収入1億1千8百万円等により4千4百万円の収入(前年同期は2億4百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少額5億6千5百万円、長期借入金の返済による支出9億6千9百万円等により12億5千9百万円の支出となり、前年同期と比較して支出が8億5千9百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想は、平成22年5月11日の公表数値から変更いたしておりません。

【訂正前】(5ページ)

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	793,771	860,140
売掛金	371,247	361,754
商品	5,114,037	5,124,535
その他	442,496	528,755
貸倒引当金	△328	△448
流動資産合計	6,721,224	6,874,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,089,249	9,165,493
土地	7,663,039	7,722,701
その他(純額)	506,067	493,498
有形固定資産合計	17,258,356	17,381,694
無形固定資産	1,027,919	1,090,158
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,984,296	3,041,343
その他	823,953	1,025,853
貸倒引当金	△888	△900
投資その他の資産合計	3,807,361	4,066,296
固定資産合計	22,093,637	22,538,149
資産合計	28,814,862	29,412,885
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,708,143	4,704,930
短期借入金	3,680,609	4,367,913
未払法人税等	234,662	305,911
賞与引当金	136,497	111,942
ポイント引当金	110,119	105,823
その他	1,741,937	1,509,062
流動負債合計	10,611,969	11,105,584
固定負債		
社債	994,000	1,055,500
長期借入金	3,492,417	3,840,069
退職給付引当金	557,101	557,484
役員退職慰労引当金	55,509	51,819
資産除去債務	385,900	—
その他	1,169,148	1,199,745
固定負債合計	6,654,076	6,704,618
負債合計	17,266,045	17,810,202

【訂正後】(5ページ)

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	793,771	860,140
売掛金	371,247	361,754
商品	5,036,184	5,089,521
その他	473,435	542,669
貸倒引当金	△328	△448
流動資産合計	6,674,310	6,853,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,089,249	9,165,493
土地	7,663,039	7,722,701
その他(純額)	506,067	493,498
有形固定資産合計	17,258,356	17,381,694
無形固定資産	1,027,919	1,090,158
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,984,296	3,041,343
その他	823,953	1,025,853
貸倒引当金	△888	△900
投資その他の資産合計	3,807,361	4,066,296
固定資産合計	22,093,637	22,538,149
資産合計	28,767,948	29,391,786
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,708,143	4,704,930
短期借入金	3,680,609	4,367,913
未払法人税等	234,662	305,911
賞与引当金	136,497	111,942
ポイント引当金	110,119	105,823
その他	1,741,937	1,509,062
流動負債合計	10,611,969	11,105,584
固定負債		
社債	994,000	1,055,500
長期借入金	3,492,417	3,840,069
退職給付引当金	557,101	557,484
役員退職慰労引当金	55,509	51,819
資産除去債務	385,900	—
その他	1,169,148	1,199,745
固定負債合計	6,654,076	6,704,618
負債合計	17,266,045	17,810,202

【訂正前】(6ページ)

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	<u>9,676,359</u>	<u>9,696,664</u>
自己株式	△446,065	△446,042
株主資本合計	<u>11,512,241</u>	<u>11,532,569</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,575	70,113
評価・換算差額等合計	36,575	70,113
純資産合計	<u>11,548,817</u>	<u>11,602,683</u>
負債純資産合計	<u>28,814,862</u>	<u>29,412,885</u>

【訂正後】(6ページ)

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	9,629,445	9,675,565
自己株式	△446,065	△446,042
株主資本合計	<u>11,465,327</u>	<u>11,511,470</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,575	70,113
評価・換算差額等合計	36,575	70,113
純資産合計	<u>11,501,902</u>	<u>11,581,583</u>
負債純資産合計	<u>28,767,948</u>	<u>29,391,786</u>

【訂正前】(7ページ)

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	30,619,721	30,240,419
売上原価	24,250,694	23,787,921
売上総利益	6,369,026	6,452,497
販売費及び一般管理費	6,130,973	5,916,086
営業利益	238,053	536,411
営業外収益		
受取利息	2,330	1,395
受取配当金	5,909	5,647
受取家賃	111,333	110,175
その他	60,250	63,328
営業外収益合計	179,824	180,546
営業外費用		
支払利息	72,649	70,055
不動産賃貸費用	33,528	35,889
その他	33,002	10,189
営業外費用合計	139,180	116,133
経常利益	278,696	600,824
特別利益		
有形固定資産売却益	166,502	—
特別利益合計	166,502	—
特別損失		
減損損失	68,208	64,515
投資有価証券売却損	—	146,400
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	176,222
その他	—	1,216
特別損失合計	68,208	388,354
税金等調整前四半期純利益	376,990	212,469
法人税、住民税及び事業税	187,872	215,242
法人税等調整額	39,278	△57,346
法人税等合計	227,151	157,895
四半期純利益	149,839	54,573

【訂正後】(7ページ)

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	30,619,721	30,240,419
売上原価	24,250,694	23,830,760
売上総利益	6,369,026	6,409,658
販売費及び一般管理費	6,130,973	5,916,086
営業利益	238,053	493,572
営業外収益		
受取利息	2,330	1,395
受取配当金	5,909	5,647
受取家賃	111,333	110,175
その他	60,250	63,328
営業外収益合計	179,824	180,546
営業外費用		
支払利息	72,649	70,055
不動産賃貸費用	33,528	35,889
その他	33,002	10,189
営業外費用合計	139,180	116,133
経常利益	278,696	557,985
特別利益		
有形固定資産売却益	166,502	—
特別利益合計	166,502	—
特別損失		
減損損失	68,208	64,515
投資有価証券売却損	—	146,400
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	176,222
その他	—	1,216
特別損失合計	68,208	388,354
税金等調整前四半期純利益	376,990	169,630
法人税、住民税及び事業税	187,872	215,242
法人税等調整額	39,278	△74,370
法人税等合計	227,151	140,871
四半期純利益	149,839	28,758

【訂正前】(8ページ)

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	376,990	212,469
減価償却費	428,457	494,184
減損損失	68,208	64,515
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△131
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,020	24,555
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,397	4,296
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△21,507	△382
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,060	3,690
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,579	△5,215
受取利息及び受取配当金	△8,240	△7,042
支払利息	72,649	70,055
投資有価証券売却損益(△は益)	—	146,400
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,216
有形固定資産売却損益(△は益)	△166,502	—
為替差損益(△は益)	2,212	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,454	△9,493
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,216	16,652
仕入債務の増減額(△は減少)	△135,519	3,212
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,410	104,918
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	54,554
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	176,222
その他	40,631	139,744
小計	681,383	1,494,419
利息及び配当金の受取額	8,240	7,042
利息の支払額	△72,653	△66,370
法人税等の支払額	△55,999	△286,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	560,970	1,148,607
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,096,587	△69,382
有形固定資産の売却による収入	818,610	—
有形固定資産の除却による支出	△16,990	—
投資有価証券の売却による収入	—	55,798
貸付金の回収による収入	5,014	5,115
敷金及び保証金の差入による支出	△28,443	△61,159
敷金及び保証金の回収による収入	121,404	118,206
その他	△7,378	△3,664
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,371	44,912

【訂正後】(8ページ)

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	376,990	169,630
減価償却費	428,457	494,184
減損損失	68,208	64,515
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△131
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,020	24,555
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,397	4,296
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△21,507	△382
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,060	3,690
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,579	△5,215
受取利息及び受取配当金	△8,240	△7,042
支払利息	72,649	70,055
投資有価証券売却損益(△は益)	—	146,400
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,216
有形固定資産売却損益(△は益)	△166,502	—
為替差損益(△は益)	2,212	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,454	△9,493
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,216	59,491
仕入債務の増減額(△は減少)	△135,519	3,212
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,410	104,918
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	54,554
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	176,222
その他	40,631	139,744
小計	681,383	1,494,419
利息及び配当金の受取額	8,240	7,042
利息の支払額	△72,653	△66,370
法人税等の支払額	△55,999	△286,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	560,970	1,148,607
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,096,587	△69,382
有形固定資産の売却による収入	818,610	—
有形固定資産の除却による支出	△16,990	—
投資有価証券の売却による収入	—	55,798
貸付金の回収による収入	5,014	5,115
敷金及び保証金の差入による支出	△28,443	△61,159
敷金及び保証金の回収による収入	121,404	118,206
その他	△7,378	△3,664
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,371	44,912